

平成27年度学校評価アンケート結果についての関係分掌による分析等

分野	No.	質問項目	分析等
学習指導	1	学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている	生徒は4年ぶりに肯定評価が80%を下回った(81.5→76.9%)。C評価が増えてB評価が減っている。A評価は増えている。授業がわかる者とわからない者の差が大きくなっているのではないか。 7月のみやぎ学力状況調査では「授業が分かる」割合は1年生40.2%、2年生37.3%であった。9月末の各教科ごとの授業評価アンケートではほとんどの教科で「授業を理解できる」者が65%以上であった。7月→9月→12月と授業に対する評価が高くなっているという見方もできる。生徒の実態を把握し、理解度の向上につながる授業改善がなされたいと考えたい。今後も生徒の実態調査をし、研究授業などを通して授業改善を推進していきたい。
生徒指導	2	挨拶やマナーなどの基本的習慣の確立に関する指導が行われている	昨年に続き、高い評価を得ている。来年度も引き続きしっかりと取り組んでいきたい。
進路指導	3	進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている	・否定的回答が生徒17.6%、保護者19.3%。3年生でいずれも22%台と多くなっている。3年生の夏休み前(3者面談)までの指導のあり方、情報提供の方法などについて検討し改善したい。
教育相談	4	生徒にとって教員やカウンセラーが必要なときに相談に応じてくれる体制は出来ている	(生徒回答) AB:77, 8%, CD:22, 2%(H26:AB:79.5%,CD:20.5%) (保護者回答) AB:74, 6%, CD:25, 4%(H26:AB:78.4%,CD:20.6%) 生徒・保護者共に昨年と同程度の評価を得ている。今年度は全体的にカウンセリング利用者が少なかった(後期は1日に0~1人という日が殆ど)。担任や部活動顧問担当者と連携を図り、カウンセリングが必要な生徒の情報共有を更に図っていきたい。
部活動	5	学校として部活動は各部活発に行われている	昨年に続き、高い評価を得ている。運動部、文化部ともに来年度も引き続きしっかりと取り組んでいきたい。
生徒会活動	6	学校として生徒会活動は活発に行われている。	学校評価アンケートの「本校の生徒会活動は活発に行われている」との問いについては、AまたはBと答えた生徒は73.1%とやや低い評価となっており、保護者では83.5%とどちらも前年とほぼ同じ割合である。 生徒会執行部については、様々な試みをし、積極的に活動していると感じるが、各種専門委員会の活動が一部停滞しているように感じる。季節限定の活動になりがちであるが、一年を通して活動をするよう工夫をしていきたい。
学校行事	7	自分にとって有意義な学校行事がある。	昨年に続き、高い評価を得ている。来年度も引き続きしっかりと取り組んでいきたい。
特色ある学校作り	8	学校として地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる。	肯定評価は生徒微増、保護者微減であるが70%台であり高評価と言える。自由記述欄などで部活動の活躍や応援状況、地域でのボランティアや行事での生徒会活動への言及があった。部活動に関しては体育科だけでなく普通科の生徒も活躍している。また文化部の活動も充実している。中学校との交流も増えており、これらを柴田高校の特色として捉え、さらに充実した取り組みを目指していきたい。

防災	9	災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている	<p>【評価】 【H26】 → 【H27】</p> <p>保護者 A・B 68.6% →75.1% C・D 30.9%→ 24.5%</p> <p>生徒 A・B 84.3% →85.5% C・D 15.7%→ 14.5%</p> <p>避難方法については、年2回の避難訓練を通してほぼ理解されていることが生徒の評価から言えるのではないかと。「緊急連絡カード」の記載・修正等を今後も年度始めに行っていくので、手直しが入るので緊急時の送迎者・送迎方法・待機の確認をお願いしたい。「一斉メール配信」未登録の場合は、他の連絡方法等をご家庭から担任に事前にお知らせいただくようお願いいたします。</p>
開かれた学校	10	保護者に対して学校HPや各種通信などで、学校の情報は適切に伝えられている	保護者のAB評価が若干低めではあるが70%を越えており、概ね満足できる結果である。保護者自由記述欄に「学校HPが更新されていない箇所(部活動について)が多い。」との意見があった。各部顧問の先生方に声掛けをし、更新するようにしていきたい。各行事や大会結果などについては学校HPに十分掲載されているので今後も継続していく。
施設設備	11	学校の施設・設備は整備されている	おおむね高い評価を得ている。
いじめ対策	12	<p>【生徒】学校として日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる</p> <p>【保護者】学校としていじめの問題に対する取り組み方針が保護者と共有されている</p>	保護者へは3月の予備登校時(毎年入学生のみ)や生徒指導たよりでいじめアンケートの毎月実施をお伝えしているが、学校評価アンケートでは、いじめ問題に対する取り組み方針が共有されていないと感じている保護者が 43.7%と依然として多いことがわかった。今年度もPTA総会(出席率は低い)や生徒部たより等を通し、本校の取り組みを紹介するとともに、いじめ防止基本方針のホームページへの掲載を検討していきたい。
総合満足度	13	学校生活は充実している	<p>肯定評価は保護者86.6%(H26 88.9%), 生徒76.5%(H26 82.3%)多くの者は学校生活に満足感を持っているが、満足度は前年度より減少した。全く当てはまらないという33名(7%)についても注意が必要である。</p> <p>今年のアンケートでは「学校生活が充実していない」理由は書かれていないので理由の欄を設けるべきであった。授業の満足度の減少と連動しているとも見られる。</p> <p>→生徒が授業に臨む姿勢の指導を含め、授業を充実させることが総合満足度にもつながると思われる。</p>
保健厚生環境	14	【生徒のみ】日常の清掃活動をはじめとして環境の整備は適切に行われている	<p>(生徒回答)</p> <p>AB:81, 3%, CD: 18, 5%(H26:AB:83.9%,CD:16.1%)</p> <p>昨年とほぼ同様の結果であった。安全点検チェックや美化委員会の活動を生かして今後更に校内の環境衛生管理、美化活動に努めていきたい。</p>
	15	健康診断や保健講話・保健だよりにより生徒の健康管理は適切に行われている	<p>(生徒回答)</p> <p>AB:87, 7%, CD: 12, 3%(H26:AB:90.1%,CD:9.9%)</p> <p>(保護者回答)</p> <p>AB:89, 9%, CD: 9, 9%(H26:AB:92.1%,CD:7.7%)</p> <p>生徒・保護者ともに良好な回答を得られている。養護教諭による保健室内の丁寧な指導や、保健だよりの配布、先生方の協力によって健康診断や各学年の保健講話も円滑に実施できた。</p>
教務図書	16	授業・自学自習などの学習活動や読書活動及び情報収集の場として図書室は適切に運営されている	<p>【学習・読書・情報収集の場として図書館運営は適切である】</p> <p>生徒→ AB評価:84.6% CD評価:14.5%</p> <p>保護者→ AB評価:73.1% CD評価:25.7%</p> <p>保護者の評価が若干低めである。行事や展示、利用の様子などの情報発信について工夫をしていきたい。</p>

進路指導	17	模擬試験や課外講習など進路目標達成に向けた実力養成の指導は適切に行われている	<p>・(生徒回答 AB 82.1→82.6% 保護者AB 78.6→78.0)</p> <p>(教職員の回答)否定的回答24%→31%について 生徒が自ら実力をつけたいという意欲を涵養することも必要である。模試受験・講習受講の意義を伝え、受験・受講を契機に主体的な学習につなげるのだという意識を持たせたい。特に1・2年次に高い目標を掲げている生徒に対して、その具体化に向けて生徒が意欲的に学習に取り組めるよう、教科担当や担任の声かけやアドバイスもお願いしたい。 講習について、募集時期に、その時期の講習の目標(どんな力をつけるのか)などを、授業のはじめにちょっと時間を割くなどして、教科担当者から具体的に伝えていただきたい。</p>
教務 図書 視聴覚	18	芸術鑑賞会など情操を養うための行事が適切に行われている	<p>【芸術鑑賞会などの情操を養う行事は適切である】</p> <p>生徒→ AB評価;89.0% CD評価;10.1% 保護者→ AB評価;82.7% CD評価;12.1% 生徒・保護者とも概ね高評価を得られていると考える。内容を吟味し行事として継続したい</p>
総務 (保護者のみの質問)	14	PTA会員相互の連携が図られており各種行事・研修がスムーズに運営されている	<p>【評価】【H26】 → 【H27】</p> <p>保護者 A・B 79.5% → 82.2% C・D 20.0% → 17.5%</p> <p>評価は若干向上した。会員同士の連絡をとっていただく機会については、部活動を中心に必要な連絡が相互にされているのではないかとと思われる。地区Pや学年・研修会での連絡・情報交換も高まってくれば更に良いかと考える。また、小中以来の繋がりも大切にしてください、相互の声掛けをお願いしたい。</p>